

羽村市・国立音楽大学連携協定締結記念

プレミアムコンサート

〈プログラム〉

グリーグ：ホルベルク組曲より第1曲 モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク
～お話し「ヴィヴァルディの四季」徹底解説～ ヴィヴァルディ：四季

令和4年 2月20日(日) 開場 13:00 開演 14:00
羽村市生涯学習センターゆとろぎ 大ホール

国立音楽大学の教員を中心とする一流音楽家の皆さんによる特別なコンサート
高校生以下を無料でご招待! (要入場券・ゆとろぎ窓口にて取扱い)



永峰高志
(ヴァイオリン)



山川奈緒子
(ヴァイオリン)



三戸 誠
(ヴィオラ)



阪田宏彰
(チェロ)



久元祐子
(チェンバロ)

〈出演〉

国立音楽大学室内アンサンブル

チケット 発売日12月18日(土)午前9時 定員 830名

一般販売 (全席指定) **1,000円** 高校生以下 **無料**

※未就学児は入場できません。

※高校生以下の無料入場券はゆとろぎ窓口のみで取扱い

- ゆとろぎ窓口 (9:00~20:00・月曜休館) 042-570-0707
- 羽村市スポーツセンター (9:00~17:00・月曜休館) 042-555-0033
- 西多摩新聞社チケットサービス (土日定休) 0120-61-3737

インターネット販売

ゆとろぎオンラインチケットサービス

(座席指定不可)



羽村市生涯学習センター
ゆとろぎ大ホール



■問合せ：羽村市生涯学習センターゆとろぎ 東京都羽村市緑ヶ丘1-11-5 TEL042-570-0707 (9:00~20:00 ※祝日を除く月曜休館)
■主催：羽村市教育委員会 ■企画・制作：国立音楽大学



©michiko yamamoto

永峰 高志 Takashi Nagamine ヴァイオリン

1980年東京藝術大学卒業、NHK交響楽団に入団。第1ヴァイオリン次席奏者、第2ヴァイオリン首席奏者として活躍する。2012年NHK交響楽団より同団への功績が認められ第32回有馬賞を授与される。2015年同団を退団する。現在、オーケストラとの共演やリサイタル等ソリストとして、ウォルフガング・サヴァリッシュ、ペーター・シュミードル、ヴェンツェル・フックス各氏との共演等室内楽奏者として活躍している。また、新日本フィルハーモニー管弦楽団等のオーケストラにゲストコンサートマスターとして出演し、好評を得ている。近年は、シュトゥットガルト室内管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団等を指揮し好評を得るなど、指揮者としても活動の場を広げている。現在、国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にあたっている。また2010年より岩手県久慈市文化会館（アンバーホール）の芸術監督を務めている。2020年7月25日マイスター・ミュージックよりアルバム「ロマンス」をCDとLPレコードで同時リリースした。ピアノは本学教授久元祐子氏。
使用楽器：ストラディヴァリウス1723年製「ヨアヒム」（国立音楽大学所有）



山川 奈緒子 Naoko Yamakawa ヴァイオリン

国立音楽大学在学中に東京交響楽団団員となる。フリー期間の後、東京ニューシティ管弦楽団団員となる。2003年より国立音楽大学講師となり、管弦楽の指導をしながら、卒業生のプロオーケストラへの進出のサポートを続け現在に至る。



三戸 誠 Makoto Sannohe ヴィオラ

国立音楽大学附属音楽高等学校音楽科、同大学を経て、同大学院音楽研究科器楽専攻（ヴィオラコース）修了。1998年より三戸誠 & 佐藤由里亜デュオ・リサイタルを毎年開催。99年アメリカ・メイン州“Arcadia International String Festival”に、室内楽・オーケストラのコーチとして参加。2006年ISMEマレーシア・クアラルンプール大会にてデュオ・リサイタル、“Sentuhan International Music Festival”にてトルコのAnatolian Sun Quartetとセッションを行い、好評を博す。09年憲法映画「太陽と月と」、17年映画「グローバルヘルス実現のために」の音楽を担当する。15年第10回リサイタルを催す。ヴィオラを渡部啓三、ミルトン・トーマス、室内楽を岩崎淑、中村泉の各氏に師事。現在、国立音楽大学講師。



阪田 宏彰 Hiroaki Sakata チェロ

国立音楽大学卒業。YAMATO String Quartet 代表。大阪国際室内楽コンクール入選。「山田耕筰室内楽全集」を始め、日本民謡・タンゴ・ロックなど幅広いジャンルのCDをリリース。群馬交響楽団、日本センチュリー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー、山形交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団などの客演首席奏者も務めてきた。桜美林大学講師。



©K.Sakayori

久元 祐子 Yuko Hisamoto チェンバロ

東京藝術大学卒業、同大学院修了。ウィーン放送交響楽団、ラトヴィア国立交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など内外のオーケストラや合奏団と多数共演。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。ブロードウッド（1810年頃製）、ベーゼンドルファー（1829年製）、プレイエル（1843年製）、エラーール（1868年製）などの19世紀オリジナル楽器を所蔵。それら歴史的楽器の演奏・研究にも取り組む。ショパン生誕200年記念年には、全国でプレイエルの演奏会に出演し軽井沢・大賀ホールにおいて天皇皇后（現上皇皇后）両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルが高い評価を受け、ベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。「優雅なるモーツァルト」（毎日新聞 CD 特薦盤、レコード芸術特選盤）などCD16作をリリースし、「ベートーヴェン：テレゼ、ワルトシュタイン」はグラモフォン誌上「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評価を受ける。園田高弘賞、毎日21世紀賞などを受賞。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」（音楽之友社）、「ショパンとプレイエル・ピアノ」（学研プラス）など多数。
国立音楽大学及び大学院教授、ベーゼンドルファー・アーティスト
<https://www.yuko-hisamoto.jp/>

「羽村市と国立音楽大学との連携に関する協定」締結

令和3年9月10日、羽村市と国立音楽大学は活力のある地域社会の創造、人材の育成などを目的に連携協定を締結しました。羽村市と国立音楽大学は協定締結を機に、音楽による連携・協力を深め文化芸術の一層の充実に努めてまいります。本公演はこの協定締結を記念し開催するものです。